

秋田大学 高等教育グローバルセンターニュースレター

Vol.6
2022.3

GLOBAL CENTER FOR HIGHER EDUCATION NEWSLETTER



秋田大学 大学間国際交流協定の締結について

2021年7月～2022年2月までに、秋田大学では新たに2大学と大学間国際交流協定を締結しました。

- 【学術交流協定】 【学生交換の覚書※】 を締結
グアム大学（アメリカ合衆国） 締結日：2021/ 7/14
- 【学生交換の覚書】 を締結
クラクフ経済大学（ポーランド） 締結日：2021/11/26



※【学生交換の覚書】を締結している大学とは「交換留学」が可能です。本学国際交流協定校の情報は、随時下記大学HPにて公開しています。

<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/gc/partnership.html>



駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使表敬訪問

2021年11月23日（火）、シニシャ・ベリヤン駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使が秋田大学を表敬訪問しました。

対応にあたった後藤猛理事（教育・学生・国際担当）・副学長から、ベリヤン大使の訪問に対して歓迎の意が示され、ベリヤン大使からは、日本の大学とボスニア・ヘルツェゴビナの大学との交流促進を図りたいとの意向が示されました。

懇談は和やかな雰囲気終了し、懇談終了後、大使は学内の2つの施設を視察しました。

理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センターでは、村上英樹講師から説明を受け積極的に質問をされました。また、国際資源学研究科附属鉱業博物館では石山大三館長、西川治講師からの説明に熱心に耳を傾けていました。



上：記念品を交換するベリヤン大使と後藤理事（左）

下：鉱業博物館を視察するベリヤン大使、石山館長（右）、西川講師（中央）





令和3年度第2回海外留学説明会の開催

2021年12月2日（木）、オンラインで留学説明会が行われ、留学に関心のある計20名の学生が参加しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本学では全世界への海外渡航を禁止していますが、今後1～2年先を見据えた留学計画を立てられるよう、秋田大学の留学制度、イングリッシュ・マラソンについての概要説明、留学経験学生の経験談の発表や留学経験のある学生及び留学中の学生との座談会が行われました。

説明会資料及び動画は下記QRコードよりご覧いただけます。



説明会資料

URL: https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/abroad/outbound/pdf/ryugaku_event.pdf



説明会動画

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=tUY8NEK6F4A>

なお、オンライン留学については随時a・netでも案内しているのでご確認ください。

留学体験記

🗨️ フライベルク工科大学（ドイツ）

国際資源学部 国際資源学科 資源政策コース 3年次
岡寄 温子

私は、ドイツのフライベルクという小さな街に留学しています。ドイツの首都ベルリンから電車で3時間半、西ドイツに位置しています。期間は2021年10月から2022年9月までです。コロナの影響で留学を開始できるか危ういところでしたが、無事開始できたことを嬉しく思っています。

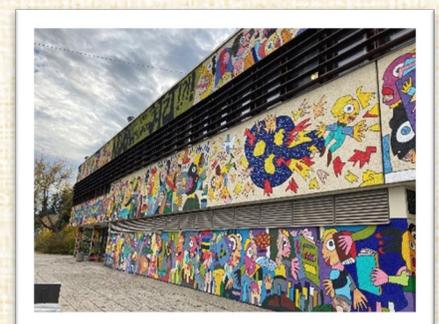
フライベルクは徒歩で生活圏内を移動できてしまうくらい小さな街です。しかし、そんな街にも長い歴史や素敵な伝統が残っており、毎日が新しい歴史と伝統の発見でとても面白い街だと感じています。特にフライベルクは鉱山の街として知られており、鉱山の街ならではの伝統が残っています。

私の履修しているフライベルク工科大学の授業は、ドイツ語ではなく英語で行われます。また、クラス内の生徒は世界各国から来ている人で構成されているので、クラス内は様々な文化が共生しています。現地語が出来なくても留学が可能なので、留学の形は色々だなと思われました。一方で、ドイツ語を話す機会が少ないので、自ら機会を作り会話スキルを上げたいです。最終的には、ドイツ人とドイツ語で日常会話ができるようになりたいです。



上：フライベルクの街中

下：フライベルク工科大学の図書館の外観



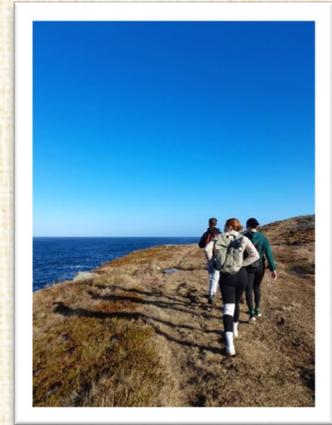
☎ ニューファンドランドメモリアル大学 (カナダ)

教育文化学部 学校教育課程 教育実践コース 3年次
渡部 結希

秋田大学派遣交換留学制度でカナダのニューファンドランドメモリアル大学に留学している渡部結希です。言語学とコミュニケーション学を中心に、2021年9月からセントジョンズキャンパスで生活しています。

言語とは何だろう、言葉とは何だろう、コミュニケーションをすることは一体どんなことなんだろう。私たちが普段当たり前のように日常生活で行っていることに率直な疑問を持ち、世界各国から来た学生と意見と意思を伝え合い、学びを深めていくことが本当に楽しいです。英語という言語を選択し、どんな表現方法を使ってでも自分の「伝えたい」という意思を相手に伝えようとすることに大きな意味があります。英語1つをとってもアイデンティティや背景、経験、考え方でこんなにも表現や言葉の選択が変わってくる、似ている考えを持っていてもその表現の仕方が変わると、考えが大きく深まること、身をもって実感しています。

オミクロン株の拡大が懸念される中こうして留学を実現できていることに感謝の気持ちを忘れず、さらに努力を重ね留学生生活をより一層充実したものにしていきます。



上：Father Troys Trail

下：ケベック市



☎ 黒龍江大学 (中国)

教育文化学部 地域文化学科 国際文化コース 3年次
畠沢 美優

大家好！2021年の9月から12月まで中国黒龍江省の黒龍江大学へオンライン留学していた畠沢美優です。私は秋田大学を休学せず、留学先の授業と並行して毎日勉強していました。今回はその生活の中で感じたことを紹介します。

私が留學生活中に特に意識していたことは、勉強の効率化です。中国黒龍江大学の授業は平日毎日あり、そのほとんどで毎回膨大な量の宿題を出されました。留学当初は、1つの宿題を終わらせるのに2、3時間ほど時間を要し、睡眠不足でさらに効率が落ちるという悪循環に陥っていました。しかし、生活のルーティーンを確立することが重要だと感じ、宿題にかかる時間を意識し、睡眠時間を確保するなど、日々の行動を習慣化することを心掛けました。

私が経験したオンライン留学では、苦勞したこともたくさんありましたが、中国語を勉強する仲間と出会い、一緒に勉強することが毎日の楽しみでもありました。いつか中国に渡航して、仲間に出会えることを楽しみにしています。

国際交流イベント「ZOOM UP! MEET UP! -多言語で話そう-」の開催

「ZOOM UP! MEET UP! -多言語で話そう-」は、様々な言語によってコミュニケーションをとるオンライン国際交流イベントです。

高等教育グローバルセンターの主催により、2021年の9月から2022年の1月まで月1回開催され、延べ24名の学生が参加しました。

次の開催の際には、a・netにて告知しますので、留学や国際交流に関心のある方は、ぜひご参加ください。

参加学生の感想

国際資源学部 特別聴講学生 (AUSR) / フライベルク工科大学 (ドイツ)

Tom Arnold (トム・アーノルド)

During this time of online lectures, one of the biggest detriments to university life was to me, not having an opportunity to chat with other students outside of class. "ZOOM UP! MEET UP!" tries to combat this by creating a platform where students can chat and get to know each other and it does so in a fun and exciting way.

After bringing in an air of internationality by having a short language game or quiz it provides a great opportunity to get in touch with current or even former students of Akita University from all around the world. Besides chatting with other students, you can also use it to test or improve your English or Japanese language skills.

So, when "ZOOM UP! MEET UP!" rolls around for the next time, make sure you don't miss it!

📢 令和3年度 秋田大学全学FD・SDワークショップの開催

2021年9月22日(水)、令和3年度秋田大学全学FD・SDワークショップ「大学における規範意識と道徳」を開催しました。今年度は、ワークショップとしては初めてのオンラインでの開催となりました。

今年度のワークショップは、「教員・職員・学生」という立場や、個人によって異なる規範意識・道徳観の違いを理解し、学内における規範意識・道徳に関する課題を明らかにすることを目的として実施されました。

当日は、本学教員・職員・学生49名が参加し、山本文雄学長による基調講話をはじめ、教育文化学部の小池孝範准教授によるミニレクチャー(テーマ:大学生活と道徳-生徒から学生へ)やグループディスカッションを通して、規範意識・道徳に関する課題改善に向けた具体的な解決方法を検討し、最終グループ発表を行いました。半日という短い時間での開催ではありましたが、それぞれの立場、そして個人といった垣根を越えた意見交換が行われ、それぞれの考えの違いを再確認することができ、有意義なワークショップとなりました。

ワークショップの動画をMicrosoft Streamで2022年3月31日まで、また、最終グループ発表の資料等をまとめた報告書をAU-CIS「電子書庫(総合学務課)」及びa・net「学生キャビネット」で公開していますのでご覧ください。



専任教員からひとこと

高等教育グローバルセンター
助教 浜田 典子

「大学の中の風景から思うこと」

大学の中を見渡すと、誰かが誰かを思って貼った掲示物があり、心が華やぐよう手入れされている草花があり、学びが快適に行われるよう丁寧に掃除された教室があることに気づきます。こうした風景の裏にある誰かの行動を私達が直接観察する機会はそれほど多くありません。だけど、少し想像すれば、私達のまわりには、誰かが誰かの幸せや心地よさを思い、行動してくれたものに溢れているということを感じ取ることができます。

誰かの思いを受け取り、満たされると、次は自分も還したくなります。どんな状況であれ、研究できること、学生たちに教えることができることに感謝しながら、進んでいきたいと思えます。

みなさんは眼前の風景から何を感じ取りますか。



秋田大学 国際交流関連データ



■国際交流協定校数（2022年2月1日現在）
大学間協定（33カ国・地域 68大学）
部局間協定（20カ国・地域 33学部等）

■留学生数（2021年10月1日現在）
学部生 103名
大学院生 91名
交換留学生・研究生等 27名
合計 221名



秋田大学国際交流ホームページをリニューアルしました。 <https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/index.html>



- ①個別の留学相談の実施
<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/abroad/outbound/roadmap.html>
- ②各種留学プログラム（長期留学、短期留学、オンライン留学）
<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/abroad/outbound/program.html>
- ③留学体験記
<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/report/>
- ④イベント情報
<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/abroad/outbound/event.html>

編集・発行：
国立大学法人 秋田大学 高等教育グローバルセンター

連絡先：国際課（国際交流部門事務担当）
TEL：018-889-2870 E-MAIL：kokusai@jimu.akita-u.ac.jp
総合学務課（教育活動部門・教育開発部門事務担当）
TEL：018-889-3192 E-MAIL：kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp